



平成27年2月17日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

陸海空一体となった名古屋港テロ対策等訓練に 海洋環境整備船「白龍」が参加しました。

1. 概要

2月12日(木)に名古屋港ガーデンふ頭及び前面海域において実施された「平成26年度名古屋港テロ対策等水際危機管理合同訓練」に、中部地方整備局名古屋港湾事務所所属の海洋環境整備船「白龍」が参加しました。

本訓練は、国際的テロリストの乗船した船舶が、名古屋港に入港し、本邦における協力者と接触、爆発物の密輸を企てている、という想定の下で行われました。

対テロリストの海上訓練においては、不審な小型船を名古屋港管理組合が陸上から監認、通報し、海上から警察、税関、消防、海保の船が追跡、空からも海保のヘリが追跡するという、陸海空一体となった訓練が実施されました。

海洋環境整備船「白龍」の船内においては、警察、税関、入管、海保による船員調査、警察によるNBC対応作業の陸上訓練、そして今回新たに警察、検疫所、海保による検疫感染症患者搬送訓練が実施されました。

検疫感染症患者搬送訓練は、エボラ出血熱が疑われる船員を一種感染症指定機関に隔離収容するために搬送する訓練で、警察、海保の厳重な警備の下、防護服に身を包んだ検疫官が倒れた船員を船内から運びだし搬送、その後船内を消毒して終了、その手順が確認されました。

日本でもテロの脅威が実感される時代になり、テロ対策等の合同訓練を実施することにより事案発生時の関係機関相互の連携及び対応状況を確認、関係機関の連携をより一層強化し、事案対応能力の向上を図る事を目的として実施されました。

- ・参加機関等：名古屋港港湾危機管理コアメンバー6機関、オブザーバー4機関
- ・参加人数：130名、車両16台、ヘリコプター1機、船艇9隻

2. 配布先：中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

3. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 久野(くの)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801



(訓練前訓示)



(侵入事案対応訓練 釣り人への事情聴取)



(海上訓練 逃走した小型船を捕捉)



(海上訓練 陸海空の合同訓練)



(陸上訓練 テロリスト逃走・逮捕)



(陸上訓練 警察によるNBC対応作業 船員救助)



(検疫感染症患者搬送 検疫官による患者搬送)



(訓練会場係留中の白龍)